

歳末需要期の花形商品!



ナショナルラジオの全種類

薦めよい ラジオの決定版!

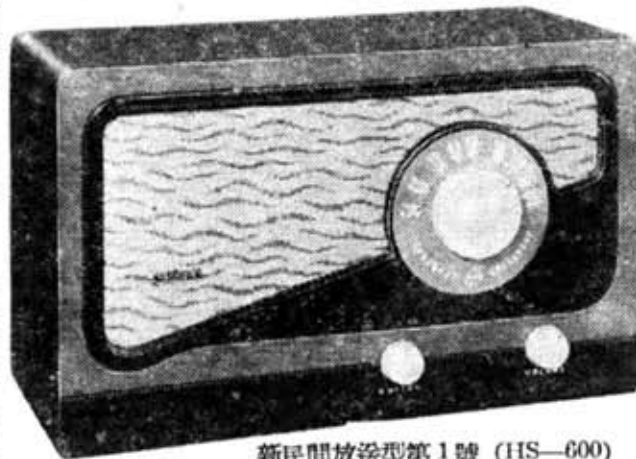
民間放送とNHKの電波の亂れとんでいる今日、お店では、ラジオのある家庭へ、さらにもう一臺、ラジオをお薦めにならなくてはならない。——というのは、ダイヤルの操作ひとつで、お好みのプログラムを、自由にきくことができるからだ。そこで當然、若い人と年とつた人、男性と女性、おとなと子供と、それぞれの好みによつて、大きく放送はことなつてくる。そこで、一臺のラジオでは、家庭のすべての人々は、満足できなくなる。一家庭には、少くとも二臺のラジオが必要——となるわけである。一方、ラジオの普及率のよくない農山漁村へは、この際こそ、一層の普及率の向上を、はからなくてはならな

い。こうして、民間放送開始を記念して『——ラジオを普及させる』の意圖から發賣されたのが新民間放送型(HS—600)だから、価格は手ごろで、どんなにも気軽にすすめられるし、特徴も、普及スパーにふさわしく、①どなたにも充分、親しんで頂けるデザインである。そして、ネットとキャビネット、ダイヤルの構造、色彩に、新しいコンビネーションを、つくりにだしている。とくに、デザインを中心であるダイヤルは、まるい大きい乳白色のツマミとし、スイッチをいれると、ダイヤルの周囲がポツカリとライトに浮かびあがる。これが、新構想のサーキユラーダイヤルである。②スピーカーは、PM—200型(ナショナル八時マグネチックスピーカー)だが、六・五時のバーマネットスピーカーのバツ

フルがついているから、お客さまの希望でかんたんに、六・五時バーマネットダイヤル、ミックススピーカーと取りかえられる。B電壓もバーマネットで充分、備作し得るよう高くしてある。③十六の民間放送局の電波が、あざやかな分離で聴取できるように、附属アンテナ線で容易に、室内アンテナを設けることができる。

五二年型ラジオ のトップ製品

『音質』と『意匠』——は、ラジオの生命といつて、決して、過言ではない。一九五二年型ナショナルラジオシリーズのトップを切つた、NS—100型は、音質と意匠において、他のどのメーカーの製品にも、ひけをと



新民間放送型第1號 (HS—600)

らない。——昨年の夏、民間放送型五球スパーと命名して、US—100を發賣し、つづいて、US—200、US—150、US—120と、US型五球スパーシリーズを發表して好評をよんだが、一九五二年度は、このUS型にかわつて、NS—100型の登場——となつたのである。

特徴は、①ネットの中央に、プラスチックダイヤルをとりつけ、目盛板の下には、船窓を思

わせる八つのリングがあつて、リングのなから美しい音色がながれる——この五二年型リングライトダイヤルは、バツクの金色のネットと調和して、新しい感覚を生みだしている。しかも、キャビネットは、ご要望にこたえて、大きくし、横巾もひろいから安定感がある。②スピーカーは、技術部のたえまない研究と努力によつて完成した、新設計六・五時バーマネットダイナミックスピーカー(PD—六五F型)を採用しているから、音質は充分、満足していただける。③音質調整器をつけているため、プログラムによつて、希望の放送をたのしく聴くことができる。④中間周波の選擇度に細心の注意をはらつたため、いままでのセットより、スパーノイズが、いちじるしく軽減されている。⑤回路に検討をくわえたから、出力が増大している。

(無歪一・六W最大二・二W以上)⑥電蓄にきりかえた場合に放送の混入はまつたくなく、レコードプレーヤーと組合せると、優れた電蓄として使用できる。⑦HS—600と同じように、室内アンテナを自蔵している。

二つの 超小型スパー

オールプラスチック製キャビネットの材質は、尿素系樹脂で、



美しい色彩と光澤をもち、構造上、音響効果、耐熱、耐湿に充分、意をこらさず、デザインは、プラスチックの特徴をいかした新しいもので、ダイヤルは新構想的クワック(時計)スタイル。スイッチをいれると、赤色プラスチックの指針が輝いて、その指す方向に光のビーム(束)が走る。さらに、このダイヤルは、二四〇度の回転角度をもつているために、目盛が拡大され、選局が非常に容易——これが超小型スーパー・P S—五一型である。

この夏には、さらに新しく五二型五球パーソナルスーパー・P S—五二型が生れた。このP S—五二型は、五一型と同様に、流行の尖端をゆくセットで、デザインも家庭はもちろん、喫茶店、キャバレー、旅館、ホテルなどにも、ふさわしく、新構想的金属ネットは、おちついた色のキャビネットと、プラスチックダイヤルと共に、独自の美しいコンビネーションをもち、近代的な感覚がセット全体にたよつてゐる。

特徴は、五一型も五二型も同様で、まず、使用真空管は、現在もつとも進歩した親ゆび大の一名「ピーナツ管」とよばれている、MT(ミニアチエアー)管で、パーツは高性能な小型部品を全面的に使用している。だ

から、性能的にパーソナルスーパーとして完璧で、中間周波ランスも改良を加え、故障の絶無、分離および音質の向上をはかつてゐる。

また、小型・軽量の上に、ループコイルを自蔵しているために、アンテナ・アースは必要なく、寝室・事務所など、どこへでも簡単に持ちこたうことができ、お好みの部屋で、自由に放送をきくことができる。

普及型

オールウェーブ

標準五球スーパー(US—二五〇)は、①新しい立體的なデザインである。(目下、非常に好評)②増巾管・四二を使い、スピーカーは新設計の六・五吋エレクトロダイナミックスピーカー(FD—六五B)を使つてゐるから、ゆたかな音量と、原音そのままのすつきりした音色を誇つてゐる。③音質調整器を使用している。④電着として容易に使える。——の特徴をそなえてゐる。

普及型二バンド五球オールウェーブ(AS—三〇〇)は、昨年末発売らしい、萬人好みのスタイルと、すぐれた性能に、絶讃を博している。この五月には①キャビネットを大きくし、新型の金色バッジを使い、②PD

—六五Bを、新設計の高性能六・五吋エレクトロダイナミックスピーカー(FD—六五B)とし、③短波帯の感度を、約三DB上昇させた。④さらに、コイルは全面的に、ダストコーアを使用。このため、完全に調整が容易にでき、コイルのQが向上した。⑤電氣的出力を無変一・二Wを一・八Wに、最大二Wを三Wに、それぞれ改良したが、七月には、さらに音質調整器をつけた。こうして、改良に改良を加えたAS—三〇〇は、普及型オールウェーブとして、完璧なもので、安心しておすすめになれるセットのひとつである。

レコードプレーヤー

と電着

三バンド五球オールウェーブ(AS—四〇〇)は、白と黒のシークなデザイン、すみきつた美しい音色で、大都會はもちろん、中小都市の需要者にも、目下、非常な人気をよんでいる。特徴は、①ラジオヒーターングによる独自のキャビネットを採用している。②赤・白・橙・緑の四色配合の豪華なダイヤルは、明るく、読みやすい。③短波は二・五から二二MCまで受信可能。④電着として簡単に使用できる——特徴である。

AS—四五〇——三バンド七



講和インフレ 批准デフレ

サンフランシスコから歸つた吉田首席全權のお土産は「百萬ドルの微笑」であつたが、池田全權の土産はこれと似てもつかぬ「均衡財政堅持」という代物であつた。均衡財政はもちろんドッジ氏のお家業である。ただ異なる點はドッジ・プランの發端は敗戦インフレの退治であり物の絶対的不足から来るインフレを終息させるものであつた。これに對し今度の均衡財政は、講和インフレを押えるものである。講和インフレの原因は色々ある。加工や技術の形にしても賠償を拂ふことになれば(拂わなければならぬ)、拂うべきものなのだが)それだけ裏づけのない支拂が外部に對して行われる。外債の延滞利子や期限の來てゐる外債の元本を返済することもそれだけ手持の外貨が減つて、何もはいつて來ない。豫備除の擴充など治安關係の豫算もふえるし日米安全保障條約による駐軍費の日本負擔も同様だ。少なくともこれらに千二、三百億圓は支拂われると見られてゐる。これらが講和インフレの要素だ。しかしこれらが具體的に

經濟の計畫化は強くなる

最近の日本は戦時中の統制を次から次へと外して行く方向にあつた。秋からは残された数少ない統制物資の中で主食の中の麥類、石油製品のうちグリニスなど固型品が外された。米も来年から外す、という。しかし世界の動きは必ずしも日本と同じではない。特にアメリカでは昨年末の非常事態宣言から統制が廣い範圍で行われ、國際生産法も骨髄きになつたというが、延長された。鐵、アルミなどは軍需品ばかりか民需品も強い統制を受ける様になつた。日本にもこれが波及して來てゐる。輸出制限品目のノックル、コバルトの使用制限や、國際剩當物資の硫黃輸出計畫などこれである。しかしこれはまだ序曲で、日米

なるのはもと先だ。補正豫算に一部組まれたとしてもその反響は



球オールウェーブは、どつしりしたキャビネットに、エッジライト照明のダイヤル。指針にも光線を通して、ちようどカットグラスを連想させる、いままでのラジオにない美しさを備えているほか、マジック・アイ付である。高周波増中回路にピーキングコイルを使用しているため感度が非常に向上している。スピーカーは、新設計の六・五時エレクトロダイナミックスピーカー（FD-六五B）であるから、原音そのままの豊かな、すみきつた音色がたのしめる。また、電蓄として簡単につかえ、レコードプレーヤー使用に便利なよう、ACソケットが設けてある。

四バンド八球オールウェーブ（AS-五〇〇）は、十の特徴を誇っている。①堂々とした風格と重量感のある木箱。②ダイヤルは、獨創的な考案によるミラクルカラーシステム（實用新案出願中）で、バンドの切替と同時に標示板がきれいに光り、一目で受信バンドが分る。③八時エレクトロダイナミックスピーカー（FD-八〇B）を使用のため、充分な出力と迫力ある音色がたのしめる。④高性能のGT管を使い、高周波一段、中間周波二段増中は、受信回路として、最高感度を發揮し、⑤マジック・アイを採用。⑥ネガチ

プリードバック回路による廣音域の再生。⑦音量調整器により、自由にその音域の切替ができる。⑧選局時の不快なノイズがない。⑨漁業無線も受信可能。⑩電蓄として簡単に使用可能である。

以上のラジオのほかに、二種類のレコードプレーヤーがある。GP-一〇は高級、GP-二〇は、實用レコードプレーヤーでありである。

GP-一〇は、#二五〇A密閉型インダクションフオノモーター、#一六〇四ビクアアップ、#一六三二オートストッパー。GP-二〇は、リムドライブ型フオノモーター（LD-一〇



卓上型5球スーパー電蓄 (GR-55)

〇型)、#一六〇八普及型マグネチックビクアアップ、ポリウムコントロール（NV-三五A・二〇KΩA）、#一六三二ミゼットオートストッパーを、それぞれ採用している。だから性能の點では、他メーカー品の追隨を許さない優秀さを誇っている。

電蓄では、卓上型五球スーパー電蓄（GR-五五）がある。これは音質の點に充分、考慮がはられており、シャシー、スピーカー、ビクアアップ、モーター、オートストッパーなどを、もつとも好条件のもとに組合せ、高能率を發揮できるように設計されている。（T）

經濟協力によつて重視される産業に對しては傾斜生産が考えられ始めた。不足が明らかで電力や石炭の割當が次第に計畫性を強くし、次いで統制の段階も考えられて来た。資金についても同様だ。獨り立ちのためなのやみは深刻化して来る。

芽生える 軍需産業

再軍備論が次第に具體化して来た。色々な裏面の動きも目立つて来た。吉田首相は「今までいつて来たように再軍備は當分やらぬ」と語っている。この「當分」が何時までのことか分らぬが、少なくとも講和條約批准後は當然の問題となつて現れよう。軍備のない國で中立など守れない。スイスがその良い例で、しかも地理的な日本の條件と民族性は軍備を必然のものとする。ただ問題は如何にして民主的な軍隊を作るかということだ。

こうした空気を反映して舊軍需産業の動向も活潑になつて来た。特に中小企業ほど變轉自在の性格からして積極的である。しかしここで最も注意しなければならぬことは軍國的な軍備ではないと同様に軍需産業も盲目的なものではない。大きな國家保護がなければ育たない様な軍需産業は眞平である。コマーシャルベースに乗つた、國際水準の製品と價格が要求されることを新特需の場合と同様に考えてお

く必要がある。

經濟の動きと 物理的の原則

本年春以来の景氣中であるが、日本は色々の問題を投げたが、當時は日本の經濟が「底」の淺いためだ、と説明した。その通りであるが其の後各國の景氣を見てみると大小、程度のちがいはあるが、イギリスもドイツもアメリカもバキスタンも皆一様に中だるみの影響を受けている。唯その受け方が歐米では日本の様に値上り七割、値下り四割、といつたはげしいものでなく、逆にバキスタン、インドネシアなど南方の後進國は日本よりひどい、ことが分つた。時計の振り子が國力によつて振幅の大きい國と小さい國となりその差異こそあれ同じくゆれた様だ。經濟の動きも物理原則と同様で、騰れば生産がふえて、物が余れば下る。下れば生産を抑えるので需要が多くなつて上る。全く原則のままだ。問題は此の原則を見越して振幅を少くする様に平常の準備と力の蓄積が大切なわけだ。日本も著しく復興し、工場も技術も戦前に近く、労働力は戦前を越す有様だが、肝心の資本が足りない。外資々と職ぐものここにあるが、講和發効後はもつとタイムリーな國家資本の活用が大切になつて来た。

産業經濟新聞
經濟部長 石川 昇